

市長
コラムてっちゃんの
ひとりごと

このコーナーでは、小林哲也市長が日々感じている思いや出来事などを隔月連載でお伝えしています。

「埼玉県荻野吟子賞 大賞受賞の快挙」

アルカス熊谷所属の桑井亜乃さんくわい あのが、熊谷市初の「埼玉県荻野吟子賞 大賞」を受賞し、本年2月に表彰式がありました。この賞は平成17年度から始まっている歴史ある賞で、埼玉三偉人の一人、日本で最初の公認女性医師となった荻野吟子の不屈の精神を今に伝える先駆的な活動を通して、男女共同参画の推進に顕著な功績のあった個人や団体、事業所に贈られる賞です。

桑井さんはラグビー界で男女を含めて初めて選手とレフリー両方でオリンピックに出場した功績が認められたもので、2016年のリオデジャネイロオリンピックに選手として出場、2024年の



レフリーをしている桑井さん

©JRLO



桑井亜乃さん（左）

パリオリンピックでは主審を務めました。現在もラグビーリーグワンの試合で女性初の審判に選出されるなど、前人未到的挑戦を続け、活躍なさっています。20年目を迎えた荻野吟子賞において、熊谷市にゆかりのある方が初の大賞受賞となりました。

今年は熊谷市誕生20周年です。桑井さんの快挙に続き、熊谷市が新たな一歩を歩み出す一つの方向として、荻野吟子にスポットを当てていきたいと考えています。現在、荻野吟子が医院を開業するなど、ゆかりのある北海道せたな町と今後の取組について話し合いをしており、実り多い機会となりますことを期待しています。